

## DJRC 活動状況並びにご支援のお願い

2024年7月吉日

Doshisha Junior Rugby football Club (DJRC)

代表 脇 慶太

小暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。  
我々DJRCは、2020年より同志社中学生をメインとしたクラブチームを運営しております。

2019年から流行した新型コロナウイルスの対応として、全国の公立・私立中学校では部活動を停止するという措置が取られました。活動を制限された状況がいつまで継続するののかの見通しが不透明であったことから、クラブチームを設立し、“中学生たちにラグビーを楽しんでもらう。” “同志社ラグビーの火を灯し続ける。”事を理念として今日まで活動を続けております。

新型コロナウイルスの猛威が落ち着き始めた頃、中学校の部活の外部委託・民間委託についての議論が全国で進められるようになりました。様々な競技の部活動が外部委託や民間委託される中京都府内においても中学生ラグビーのクラブチーム化が進んでいます。

2020年のクラブチーム数：4チーム 2024年現在のクラブチーム数：**14チーム**

教職員の時間外労働の短縮に繋がるなど、クラブチーム化には様々なメリットがもたらされると考えられています。公立中学校では、クラブチームに対してのグラウンドの無償貸与等の援助が行われています。

DJRCは、同志社中学校の生徒が主に所属しているクラブですが、同志社中学校高等学校からは学校に関係のない外部団体であるとの認識を持たれています。岩倉の南グラウンドについては、外部には貸与しないというルールが学校には存在しているため、設立から現在まで、練習用のグラウンドは料金のかかるグラウンドを利用しています。（2023決算額：¥1,158千円）

本年度の予算案では、グラウンド使用料金は¥2,561千円と設定しております。  
昨年度決算数値から2倍以上の金額を設定した大きな要因は下記2点になります。

### ①グラウンド以外の練習場所をグラウンドに変更

昨年度は、監督の自宅や狐坂、宝ヶ池公園等の無償で利用できる場所を練習場所として年間練習日数の約30%を利用しておりました。本年度からは、グラウンド利用日数を増やす計画のため費用を増額いたしました。

### ②クラブチーム数増加に伴う、安価なグラウンドの利用頻度の減少

前述した通り、中学生ラグビーのクラブチーム数は4年間で4倍程度増加いたしました。  
ラグビー以外のスポーツや小学生・高校生などの他カテゴリーにおけるクラブ数の増加も考えられます。結果として、昨年度は必ず当選していたような廉価な利用料のグラウンドの抽選にも落選する状況となっており、ある程度高額なグラウンドを利用せざるを得ない状況が発生しております。そのため、予算額を増加して計上しております。

(参考) グラウンド利用料金表

施設名	利用料金形態			備考	
	1時間	3時間	5時間	利用効率	施設設備
御所今出川グラウンド (2面)	¥800	¥2,400	¥4,000	×	×
岩倉東公園	¥2,080	¥6,240	¥10,400	◎	○
岩倉東公園 (休日)	¥3,400	¥10,200	¥17,000	◎	○
宝ヶ池球技場	¥1,830	¥5,490	¥9,150	○	◎
宝ヶ池球技場(休日)	¥2,460	¥7,380	¥12,300	○	◎

予算の増額に伴い、子供達から徴収する部費も増額いたしました。クラブ運営については依然として安定的なキャッシュフローを保てず、指導者の駐車料金等の自己負担可能な費用については、各指導者が自己負担することによって工面しております。現在の指導者達は、母校への恩返しの気持ちで活動を支援しておりますが、将来的にこの状況が継続した場合、後任の指導者が誕生せず、クラブの運営が不可能になってしまいます。

つきましては、OBの皆様にご支援を賜りたく、DJRCの現状をお伝えさせていただきました。詳細について、さらに説明を必要とされる方につきましては、直接お話をさせていただければと考えております。

問い合わせ先を下記に記載いたしますので、お気軽にご連絡いただけますと幸いです。

<問い合わせ先>

MAIL : info@gr-djrc.com

電話番号 : 080-3816-8869 【DJRC事務局 柳 鉉晃 (平成20年度高校卒)】

以上、よろしく願いいたします。